

OGAKI ひるば

OGAKI JUNIOR BOARD

第45年度スローガン とことん まっすぐ

第45年度第2号
大垣青年重役会
平成22年9月25日発行
<http://www.ojb.jp>



記念講演で地元・岐阜について語られる古田先生

～第45年度9月記念講演～ 演題：『飛騨・美濃じまん運動と 地域振興について』



◎講師 岐阜県総合企画部
観光交流推進局
局長 古田菜穂子先生
◎とき 平成22年9月9日(木)
◎ところ 大垣フォーラムホテル
◎出席者 51名

平野会長の挨拶で45年度がスタート！

古田先生の講演を聞いて

皆で大垣じまんの原石に！ 川瀬 泰弘



第四十五年度のスタート、すばらしい内容に感謝したい。古田菜穂子先生からは、ピンピンと今の岐阜県を感じさせてもらい、心が動く、そんな言葉の原石探しに傾聴させてもらった講演でした。

観光推進と地域振興は、郷土を愛する気持と地域を信じることでとおっしゃられた。「感動させる・する」にリンクされ、人づくりやモノづくり…褒められて伸び、成長へと。皆で誇りあうことが、地域に対する愛なのだ。言葉の学びから仕事を通じ、産業観光への貢献を心がけてみたい。

最後に当会の運営(もてなし)を受け、笑顔と握手は、人をもてなす最適な手法で、行き交い、活性化される。ぎこちない握手も笑顔も、素晴らしい原石になる予感がしました。人と人が繋がりあうことが会社や店にとって宝物になる。大垣人として地域資源を活かし、発信し、まっすぐに！何が出来るかを考える機会になりました。古田先生、ありがとうございました！



「じまん下手」

山口 猛



古田先生のご講演を拝聴し、「岐阜の人は自慢下手が多い」とお話しされた事が凄く脳裏に残りました。岐阜県には、まだまだ自慢出来る原石が身近にあり過ぎて、そして、それが当たり前になってしまった日々を過ごしている

場所があったとしても、それが普通だと思ってしまう自慢出来なくなっているのだと思います。小さな事でもそれを自慢できたような発想の転換が必要な事だと思いました。会社を経営するのも同じ事がいえると思います。いいことをしていてもそれをうまく対外的にアピールする事が出来なければ、いくら社会に対して意味のある事をやろうとしていても、自己満足だけで終わってしまう。今後、会社をどのようにしたいのか、また、どのようにしていかなければいけないのかを、もう一度、見直さなければいけない時代になっているのだと改めて痛感しました。最後になりましたが、古田菜穂子先生、ご講演いただきありがとうございました。

いよいよ始まりました動画配信！毎月7日の
OJBメルマガ・ザ・ムービー！！
ド派手なパフォーマンス中の川瀬会員！
一体何が起きたのか！？続きはWebで★

9月例会感想一言集

記念講演：飛騨・美濃じまん運動と地域振興について
皆様より例会での感想をいただきました。

- 自社がなぜ岐阜県の大垣で事業をしているのか？と考えると「親が」とか「祖父が・・・」という答えになる。でもせっかく岐阜県（大垣）で事業を行っているので、自信を持って、又岐阜県（大垣）を大好きになって仕事をしていきたい。
- どうしようもあることから頑張っていきたい。岐阜県大垣市の良い所を見つけて取り入れる努力が必要かと。積極的に自社の自慢（アピール）が必要かと。思いを形に！！
- 岐阜の自慢を見つけるとともに、今自分の仕事とリンクするような事を考えさせられました。自信をもって自慢する事がこれからの未来につながる様な事を、これから探そうと思います。先生のポジティブな考えは話を聞いていて勇気づけられました。
- 心に響いた言葉「下呂温泉が一番になれないのはなれない理由がある」「問題点を見出し課題とする」「問題は伸びしろと思うこと」自社のじまんできる所をあらためて見出しブラッシュアップしてブランディングしてみたい。
- 奥の細道結びの地（記念館）の観光&特産に力を注ぎ、誇れる「大垣」をよりアピールしていきたい。
- 自分も岐阜に産まれて、岐阜の事をよく知っているつもりで生きてきましたけど、知っているつもりのようなきがしました。もっと岐阜を知り大垣を知って、地域をアピール出来るようにしていきたいです。
- ビジネスの心の部分を考え直させられるお話しでした。改めて岐阜が好きになれるお話しでした。
- 飛騨のじまん美濃のじまんで多数教えていただきました。弊社のじまんは何んなのか？やはり、じまん、強みを伸ばす事が、企業を伸ばしていくヒントになる。じまん、誉めることは、社員のやる気にもつながる、じまんができる原石を見つけて磨いていきたいと思いました。
- ブランディング。どういう流れで「ブランディング」するか？参考になりました。身近な岐阜の題材をもとに話をして下さり、地元大垣にも誇りをもてました。
- 私は、岐阜に住んで 29 年になりますが、もし外国人、他の地域の人に PR して下さいと言われてたらドキッとします。なぜなら自分が岐阜の事についてあまり知らなかったからです。しかし今日の御講演を拝聴しまして、岐阜の文化の素晴らしさ、食、水の豊かさを知ることができました。もっと岐阜の素晴らしい所を知りたくくなりました。
- これから自分のふるさとの自慢をしていきたいと思いました。そしてふるさとへの誇りを持ちたいと思います。
- 大変勉強になりました。どうやったら売れるのかを考えると同時に、何故売れないのか？も考えてみたいと思います。（下呂温泉の話より）
- 観光というキーワードを基に経営に活かせる話を聞く事ができた。問題を問題として捉えなければ進化していかないと、企業が取り残され当然 No.1 にもなれないという事、ネガティブに考えない事、PR しようとする事と自分達の関わりが持てなければシステム化せず、継続していけないという事が非常に参考になる話をききました。
- 意味のある仕事をしよう！「なぜ？」の視点をもって今の仕事を再認識して次に活かす。『水都大垣』をもっとつきつめていこう！！「水」と「私」はつながるが「芭〇」と「私」はつながりにくい↓人に伝わりにくいから定着しないのでは・・・。気持がこもっていないこと（仕事）は長続きしないし、人から認めてもらえない。仕事に対する姿勢を教えて頂けました。
- 岐阜にこれほどの宝もの原石があり、これを引き出したり、磨きつなげていく古田先生の活動を拝聴させていただき、今一度自社の強みをとことん掘りおこし原石を磨き広めていくのが経営者としての私の役わりだと思いました。
- 時代が変わるときなんだなあ。観光とは光を観せるってことなんだなあ、やってなかったことやれてなかったことに素直に向き合うことが大事なんだなあ。仕事（商品）とわたしの関係性をしっかりみつめていかないといけないんだなあ。まず、元気を出して明るくやろうじゃないか。
- タネクラという土地について大変興味を持ちました。最初は外部の人間が入ることについて、ていこうがあった人たちが、いろいろな人にふれあつてりして関係を築けるようになるというところで。さらに良い土地になっていくだろうなあと思像でき、今後が楽しみです。

9月例会感想一言集

記念講演：飛騨・美濃じまん運動と地域振興について
皆様より例会での感想をいただきました。

- プライドを持つということが大切。きっと地域にたくさんの自慢がある場所、例えば京都などは大変人間のプライドが高い、そのプライドが郷土愛や愛国心、愛社精神などにつながっていき、その先アピール、販売力へとつながって行くような気がしました。
- 基本コンセプトをしっかりと作り、推進実行する。問題を見つけ課題とし解決することが必要、重要。誇りを持つ。
- じまんの原石・・・原石を磨いて明日の宝物。出来ないやれないと言う社員さん達が多くなっている。なぜ出来ないのかに耳を傾け、出来ないで止まらず、次のステップの意見が出る様な仲間づくり=会社の未来と感じました。
- 岐阜の良さについて改めて興味を持ちました。貴重な御講演を賜り、有難うございました。
- 知事さんに古田さんの活動を理解してもらったお話の中で、地道な活動（仕事）をほめられるとほめられようとしてやっていなくても、うれしいしやる気になる。→会社でも社員をほめようと思いました。信じた道を、地を耕し、種をまき育てて、伝えることの大切さがわかりました。じまんの原石は、会社におきかえて自分の会社のよさ、生き残る強み、存在価値を考えるきっかけになりました。
- 社会にどう貢献するのか？お金はあとからついてくる。なかなか実践できませんが理想としていきたいです。
- ヒト・モノ・コトをつなげる仕事（プロデューサー）をしていた古田先生が自慢下手な岐阜県民を先導して、いっぱいある岐阜の魅力伝えていく方法とその原石をブラッシュアップして宝石に変える。コト・モノを売る時も、バックにあるストーリーを語りプロデュースする事によって魅力あるものになる。それにより地域に自信が生まれ、活性化していくことを学んだ。会社組織活性化にも生かしていきたい。
- <明日からの企業活動で活かしていく言葉>今までやっていなかったこと、問題にしようとしなかったことを課題にして解決していくこと。<今日の講演で印象に残った言葉>いろいろ多面にわたってやってきたが、自分の中ではずっと同じことをやってきた。
- 自社の商品に対しプライドを持ち、みがき上げる。それを経営者だけでなく、全社員が共通意識を持っていけたら素晴らしいものができる会社になる。改めて取り組みたいとおもいました。
- 前回にロハスに関しての講演をされた際同様に古田先生の真っ直ぐな捉え方が非常に魅力的でした。観光ということから資源の羅列として据え置くのではなく、アクションを興してさらに持続可能なシステムにしてゆく必要性を述べられた事に深く感銘を受けました。大垣の観光資源で将来に対する伸びしろが水であることを直ぐにお話しされた時も我が意を射たりの思いでした。
- 今一度、社員、自分を見つめ直してみたい。人をほめる事を心がける様にしたい。
- 岐阜県がこんなにまだ知らない素晴らしい事があるのを、あらためて思いました。自社でももっと地域を活かした運動が出来るといいなと思い、実行していきたいと思えます。
- 岐阜県のオンリーワンブランドを見つけるのって、大変なんだなあと感じました。
- 地元を見つめ直す、足元を見つめ直すに繋がると思えます。宝石も原石あつての話。
- 問題を課題に変えるところから、明日につながる。自分が選ばれない理由を考える。
- 商品を売る理由を説明する。自分（会社）の悪い所を見出して改善する。高い確率で、自分の歴史の時間が長く、本編に時間が取れていない。
- 人は誉めて育てよ！
社会の為に働く。金儲けの為に働くな！
岐阜県の自慢をしよう。



第45年度9月通常総会開催

正会員67名 出席者46名・委任状11名
会則25条の定数を満たし、総会が成立しました。

議長には渡部弘幸歴代（第42年度会長）が選任され、以下の議案が満場一致で議決されました。

第45年度9月通常総会 議事

- 第一号議案 第四十四年度事業報告について
(第44年度 羽田会長)
- 第二号議案 第四十四年度決算報告及び監査報告について
(第44年度 北野会計・佐竹監査役)
- 第三号議案 第四十五年度及び創立四十五周年記念事業計画案の件
(第45年度 平野会長)
- 第四号議案 第四十五年度及び創立四十五周年記念事業予算案の件
(第45年度 所会計)
- 第五号議案 その他



第44年度 羽田会長



第44年度 北野会計



第44年度 佐竹監査役



第45年度 平野会長



第45年度 所会計

第45年度 新入会員認証状授与式

本年度は4名の新入会員を迎え、平野会長より認証状ならびに会員バッジが手渡されました。

写真左より



◎(株)山洋商会 / 専務取締役

江森 正 (えもり ただし)

◎(株)小川製作所 / 営業・技術チームリーダー

小川 智宏 (おがわ ともひろ)

◎太陽織物(株)FRP事業部D-ファクトリー / 取締役

奥田 祐太郎 (おくだ ゆうたろう)

◎中島商店 / 営業

中島 繁樹 (なかしま しげき)

以上4名の新入会員が入会しました。

第44年度 皆・精勤出席者表彰

羽田 第44年度会長より記念品が
皆・精勤出席者12名の方々に贈呈されました。



- 皆勤出席者 左から
松本会員 吉田会員
大角会員 足立会員
河合会員 小川会員
田端会員 藤井会員
安田会員

- 精勤出席者
浅野会員
大橋(博)会員
田口会員



合同委員会

●とき…9月16日(木) 19:00～ ●参加人数…30名
今年度も玉子屋別館“玉辰楼”さんにて開催されました。

合同委員会では美味しい料理を食べながら多くの意見が飛び交い、各委員会活動について具体的な話し合いの場となりました。



■例会企画委員会 委員長 川瀬 知哉 / 副委員長 足立 貴保 テーマ：エコ究道～真のエコを追求した企業が世界を変える～

- ・担当例会の企画・開催(2月～8月、その内3回はスポット担当による企画例会)
- ・例会スタイルとして、ディスカッションによる会員同士の意見交流の場があってもよい。
- ・例会で学んだことを各会員や企業にフィードバックできることが望ましい。



■広報委員会 委員長 寸田 敬介 / 副委員長 田端 隆 テーマ：まっすぐ皆様にお伝えします

- ・OJB ひろばとメルマガの相互リンクによる情報の共有化を検討
- ・メルマガにおける動画の許容範囲の明確化を検討
- ・メディアを利用した外部発信の許容範囲の模索



■会員親睦委員会 委員長 近沢 正 / 副委員長 片桐 大介 テーマ：集え、港へ！ 突き進め、大海を！

- ・飲んで語る会ではみなさまが会話しやすい落ち着いた場所(ラウンジ、バー、居酒屋等)をセッティングします。
- ・家族親睦会ではご家族の方特にお子様が安全でかつ楽しめるような場所(釣堀、パターゴルフ、ボーリング等)をセッティングします。

新入会員紹介

OJBへの入会にあたり新入会員の皆様に、自己紹介や決意を語っていただきました。

●新入会員として

江森 正 会員

この度、大垣青年重役会に入会させていただきました、山洋商会 江森正です。

まだまだ重役会の、内容について、右も左もわからない状態ですが、今後、新入会員として、会をもっとよく知る為、そして私自身を会員の皆様を知っていたただける為にも、例会へ必ず出席できるようにいたします。

私は、重役会の内容のお話をお聞きし、大変魅力を感じたのは、現在は、学校とは違い、日々仕事に追われ中々、自ら進んで、時間を作り、勉強をするという機会がない状況で、勉強といっても、どこで、どのような勉強会や講演等が開催されているかを調べることもできていない中、青年重役会では、例会等で、皆様と勉強できる大変素晴らしい機会を作ってくださいますので、この機会を逃さず、しっかりと、勉強していき、自分を高めていきたいと思います。新入会員だからではなく、自分自身の為に、何事にも積極的に参加してまいります。よろしくお願いたします。

●皆様、初めまして。

小川 智宏 会員

本年度よりOJBに参加させて頂く事になりました小川 智宏と申します。

9月例会に参加する前の心境は、「嬉しい気持ち・不安な気持ち」が入り混じっていましたが、皆様の温かい歓迎のお陰で、不安な気持ちは一切無くなりました。有難うございます。

また、アイスホッケーを趣味として楽しんでいます。相手チームに勝つ為には、綿密な作戦、仲間とのチームワークが重要となり、趣味を通じて「仲間」の大切さを学びました。

これからOJBの活動を通じて、仲間「先輩」を尊ぶ、「仲間」の大切さを再認識すると共に、OJB会員の名に恥じない行動を心掛けていきます。

この様な貴重な機会を与えて頂き、感謝すると同時に、自身は未熟者故、戸惑うことも多いと思いますが、諸先輩方、何卒ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願致します。

●早苗町の中島です。よろしくおねがいします

中島 繁樹 会員

この度、OJB45年度に入会しました中島繁樹と申します。現在、父中島正良の経営する中島商店にて工業用・家庭用のミシン系をはじめ服飾産業資材やその他産業資材の販売をしております。店は早苗町5丁目5-1にあり、早苗町1丁目1には大垣競輪場があります。この町の1丁目から4丁目は競輪場とその駐車場になっていて住宅地は5丁目だけと狭いので、ご存知でない方も多くいらっしゃるようです。

さて、私は小2の時から大学卒業までサッカーを続けてきました。FWのように先頭に立って点を取ることも、守備を通して間接的に点を取ることに貢献することが好きな人間でした。しかし、今後経営者となっていくには今まで以上にFWのように自分を出して良い結果を求めていかなければなりません。今後、OJBでの活動・研修等を通じてより効果的に自分磨きができるよう精進したいと思います。いろいろご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導の程宜しくお願いたします。

●情熱で支える人と地域のつながり

奥田祐太郎 会員

この度、大垣青年重役会に入会させて頂いた奥田です。よろしくお願いたします。

私は元来、とても祭好きでそこにいる人々の熱気、パワー、情熱を肌で感じる事はとてもエネルギーをもらえるものです。自らも鈴鹿の耐久オートバイレースに参加をしていたのはそれが理由かもしれません。

私は以前竹富島という所を訪れました。人口は当時で300人余りの島でしたが、年に祭が200日以上ある島でした。これも、少ない人口のなかで、人と人を密接につなぐコミュニケーションツールとして、祭が存在していたのだと思います。大垣にも大垣祭があります。これも350年という長い歴史がありますが、祭ありきで大垣が成り立った訳ではなく、その間この地でずっと人が営みを続けている証だと思います。今年度、OJBも45周年を迎え、先人の方たちが築きあげた諸活動を情熱的に実行し続け、後人に伝え続ける歴史ある会の一部に参加できることを誇りに思い活動していきたいと思えます。

ActivityReport

第1回飲んで語る会

会員親睦委員会



三輪特別会員も駆けつけてくれました…
というか三輪特別会員の下に皆で駆けつけました。(笑)

とき……9月9日
例会終了後
ところ…ラウンジ紫苑
参加人数・25名



新入会員さんもまじえて楽しいひと時を過ごしました。

Information

委員会活動

●第1回講師を囲む会

とき……10月9日 例会終了後

場所……魚民 大垣南口駅前店

TEL ……0584-75-9188

会費……¥2,000-

●土屋杯ゴルフコンペ

とき……11月25日(木) 開催予定

※詳しくは10月のひろばにてご案内いたします。

information

▼今年のOJBはオーガニックに注目です！



玄米や無農薬野菜など「ロハス」なメニューで
会員様の健康にもとことん まっすぐです！▲

- 創立45周年ロゴマーク決定！
応募総数117作品もの力作が揃いました。
厳正なる審査にて
広島県の堀江 豊様の作品が
最優秀賞に選ばれました。



OJBのホームページにて詳しく内容が発表されております
是非ご覧くださいませ。 www.ojb.jp/45logo-kekka.pdf

9月ドネーション

●浅野信哉 会員

少年団のボーリング大会で新聞に載せて頂きました。
ありがとうございました。

●川瀬泰弘 会員

地産の野菜を使った和菓子三品が、「大垣いちおし製品」
として認定をいただきました。ありがとうございます。

●第44年度会員委員会 (大橋博己会員、松田俊治会員)

8月1日家族親睦会を無事終える事が出来
ありがとうございました。

●創立45周年記念事業実行委員会 CI担当委員会

創立45周年記念ロゴ決定

たくさんの応募作品の中から広島県の堀江さんの作品を最
優秀賞に選出させていただきました。中日・岐阜新聞にて
発表していただきました。ありがとうございました。

又、本年度は例会受付時に、会員相互のふれあいの握手
を実施します。

みなさんでもりあげてよろしく願いいたします。

●三輪俊明 特別会員

無事卒業できました。お世話になりました。

●松本正平 会員

元気ハツラツ市 毎回天気もよく、
半年間続けさせていただきました。

●平野宏司 会員

9月例会・記念講演たくさんの会員においていただきまして
ありがとうございました。